

テールサスペンション実験システム



**向精神薬の
スクリーニングに
最適**

**ソフトウェアに
よる自動測定で
精度アップ**

適用研究分野：
精神科学

テールサスペンション試験では、薬剤の向精神作用（抗うつ作用、鎮静作用）を迅速かつ的確にスクリーニングできます。

原理としては、つり下げられたマウスがその状態から逃れようとする際のエネルギーを測定します。試験中のマウスの動きを、力、エネルギー、パワーとして解析し、不動時間を自動的に測定します。また、不動閾値を調整し再解析することも可能です。

ケージには荷重センサーが内蔵しており、1セットマウス3匹用で、最大2セット、つまり、最大6匹までを同時に測定できます。また、実験を実行、解析、再生するための使いやすいソフトウェア（USBベース）を用いて解析を行い、測定結果はExcelファイル形式で保存できます。

また、オプションで、閾値調整のための測定時の動画を録画することも可能です。

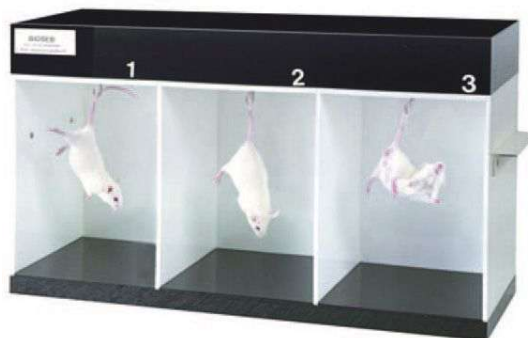
- ・ 抗うつ薬・向精神薬の評価
- ・ 荷重トランスジューサによるエネルギー測定
- ・ 動物の動きをエネルギー、パワーとして解析し、不動時間を自動的に測定します。
- ・ 閾値を調整し、再解析も可能
- ・ 一度に6匹まで測定可能（2ケージ）
- ・ 測定結果はExcelファイル形式で保存可能
- ・ オプションで、閾値調整のための測定時の動画を録画できます

測定項目

- ・消費エネルギー
- ・動きの激しさ
- ・不動時間

標準構成

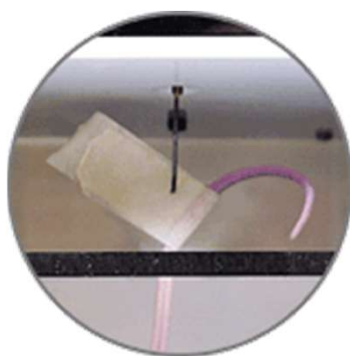
- トランスジューサ
- 3連パースペクス製コンパートメント
- ケーブルとコネクター



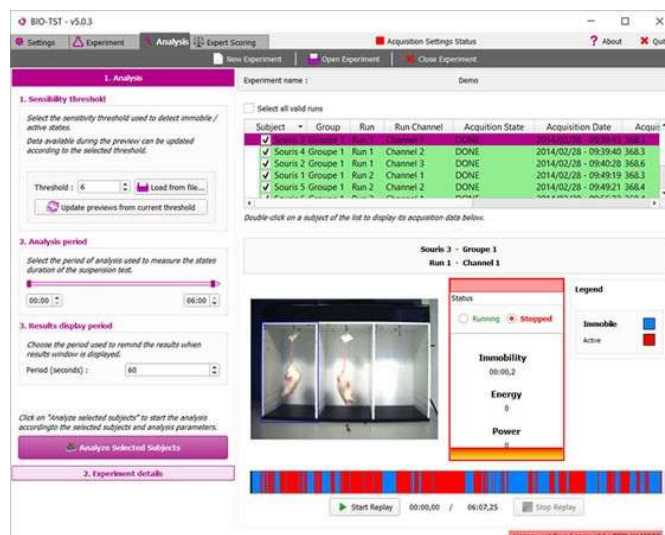
仕様

ソフトウェアの推奨システム環境	Windows 8, 10, 11 (32 bits, 64bits) USB 2.0 ポート 1 ~ 2 つ CPU: Intel Core i5 第9世代以降 RAM: 8Gb ディスプレイ1920x1080
ケージ寸法	W 500 × D 150 × H 300 mm
サンプリングレート	200Hz (荷重センサー) , 15 fps (カメラ)
材質	黒色および白色のパースペクス、金属のフック
最大ステーション数	PC 1 台につき 6 匹
電源	AC 110 / 220 V、50/60 Hz

型式	品名
BIO-TST5	テールサスペンション TST5(トランスジューサ/ソフトウェア付)
BIO-TST5-CAGE	テールサスペンション TST5用追加ケージ
BIO-TST-VID	テールサスペンション TST5用USBカメラ



テープで尻尾を吊るすことで動物の苦痛を削減します



ソフトウェア操作画面

